

第 64 回国際理解・国際協力・多文化共生のための全国中学生作文コンテスト東京都大会 銀賞

白百合学園中学校 1 年

木村 優奈

課題③

持続可能な開発目標（SDGs）の進捗をどう評価し、さらなる努力が必要と考える点は何か。

副題

SDGsの達成度と国家の幸福度の関係

私は中野区在住の中学一年生で、区が主催しているハイティーン会議のメンバーとして地域の環境問題に取り組んでいます。今回、SDGsの現状について私が幼少期を多く過ごしたシンガポールと東京を比較しながら、リサイクルゴミの問題と国家の幸福度の関連性にも注目して考えてみました。

私たちが住む東京都では、ゴミの分別やリサイクルが進んでいます。中野区でもゴミの分別が進んでおり、具体的にペットボトルや食品トレーを回収するリサイクルボックスや紙などを分別するリサイクルステーションなどが各地に設置されています。このような取り組みは、SDGsの目標十二の「つくる責任、つかう責任」に直結しています。

しかし、現実には分別がされていないゴミがリサイクルステーションに持ち込まれることやゴミのポイ捨て、不法投棄などの問題が中々なくならないと知りました。これらはSDGsの目標十一の「住み続けられるまちづくりを」や目標十五の「陸の豊かさも守ろう」に関わる課題であると考えられます。

一方、私が幼少期を過ごしたシンガポールは、ゴミがあまり落ちていない世界で有数の清潔感のある国でした。その背景には、ガムが法律で売っていないこと、ゴミのポイ捨てや公共场所での喫煙に対し高額な罰金を払わなくてはならないことなどの厳格な取り締まりがあります。シンガポールでは、政府と国民が一体となって綺麗な国を保つことを強く意識したり、高いリサイクル率により環境保護にも取り組み、SDGsの目標十一や目標十二に大きく貢献しています。

この例から学べることは、法律の厳格化と市民の高い意識が清潔な環境を維持するために重要であるということです。東京でもシンガポールのような厳格な取り締まりを導入することで、ゴミのポイ捨てを減らし、リサイクルの徹底を図ることができるかもしれないと思いました。

また、父からは国家の幸福度とSDGsの達成度には密接な関係があることも教えてもらいました。幸福度の高い国々は環境保護や社会的な安定に対する意識が高く、SDGsの達成に向けた取り組みが進んでいることが多いそうです。シンガポールは世界でも高い幸福度を誇り、その背景には市民の健康や教育、環境の設備が大きく関係しているのだと考えました。

日本の幸福度ランキングは、長時間労働や社会的なストレスが影響して、他の先進国に比べて低くなっています。SDGsの目標三の「すべての人に健康と福祉を」や目標八の「働きがいも経済成長も」を達成するためには労働環境の改善が必要であり、環境意識の向上も幸福度に直結する大事な要素であると考えました。

私たち中学生は、まず自分達の日常生活の中でゴミの分別を徹底したり、リサイクルの大切さを理解することが重要です。私はハイティーン会議のメンバーとして、地域社会に対して環境保護のためのリサイクルの重要性やゴミの分別方法について訴えることができます。今後は他のメンバーと協力しながら、いま何ができるのか考えていきたいです。

今回、環境問題を深く考えてみて、SDGsの達成には私たち一人ひとりの行動と意識が大切なのだと改めて気がつきました。東京とシンガポールを比較しながら、人の善意だけでなく、法律や罰則なども大事だと思いました。ゴミの分別や環境教育の推進など、小さな努力の積み重ねが持続可能な未来を築くための大きな一歩になるということを知る良い機会になりました。私も地域社会の一員として、未来の地球を守るためにできることを積極的に実践していきたいと思います。